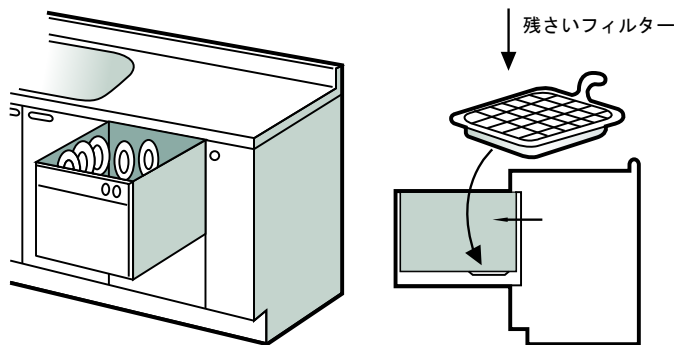


食器洗浄乾燥機

食器洗浄乾燥機は便利な機械ですが、お手入れを怠ると逆に不衛生な場所になってしまいます。食器の残さいや汚れなどが機内に残り、目づまりして洗いが悪くなったり、臭いの原因にもなります。使用のたびに掃除をして清潔に保つことで、次も気持ちよく使えます。



お掃除項目 残さいフィルター

お手入れ回数 使用のたびに

お掃除方法



残さいフィルターのゴミは使用のたびに取除いてください。
庫内(タンク)は汚れがつきやすいので月に一度は入念なお掃除を行いましょう。
作業をするときは、運転終了後30分以上経過してから行ってください。乾燥用のヒーターが高温になっている為、やけどをする恐れがあります。

やめましょう



使用する洗剤は食器洗浄機専用の洗剤を使用してください。一般の洗剤を使用すると機械をいためてしまいます。
本体に直接水をかけないでください。
本体の表面を拭くときに、ベンジン、シンナー、クレンザー、弱アルカリ性洗剤、原液の漂白剤、研磨材入り洗剤などを使用したり、たわしでこすらないでください。(傷・変色の原因になります)
化学ぞうきんをご使用の際は、注意書きに従ってください。
焦げつき、焼きこげのあるものは、そのまま入れずこすり落としてから入れてください。

お掃除項目 庫内、ドアの内面

お手入れ回数 月に1回

お掃除方法



1ヶ月に一度、庫内を空にしたままで、標準運転をします。
その後、庫内とドアをよく絞った柔らかい布で拭きます。
庫内には給排水のパイプが接続されていますので、強い力で押して庫内をベコつかせると水漏れの原因になります。軽く拭き取りましょう。
ドアの下端と庫内の手前部分は汚れがつきやすい場所なのでよく拭き取りましょう。
また、月に一度は残さいフィルターに洗剤をつけてブラシで洗いましょう。

《機種によって違います》

カゴ類、回転ノズルなどの取外し掃除・点検方法は機種と構造によって違いますので、それぞれの取扱説明書(お手入れのしかた)に従い、行ってください。

放置すると



お手入れをしないで放置すると残さいや汚れが腐敗したり固まってこびりつき、洗浄回転部や乾燥ヒーターへの不具合、及びサビなどが発生し故障の原因となるばかりでなく、本体の交換が必要になります。

知得情報



食器の内面に、噴射水が十分当るよう、食器の入れ方で仕上がりが違ってきます。

(取扱説明書の入れ方を良く読んでみましょう!)

一週間以上使用しなかった場合は、専用洗剤を入れ、予洗い運転か食器を入れないでの運転を行なってください。

また、ときどき庫内を清潔に保つため予洗いをお奨めします。